



増毛山道を 地域の宝に

小杉氏

地域づくりは、地域を愛する強い思いから。留萌振興局が27日に開いた第1回地域力向上基礎研修で、増毛山道の会事務局の小杉忠利氏(小杉測量設計社長)が、仲間と共に追い求める増毛山道への熱い思いを語った。

小杉氏は会場に、私費を投じて作成した長さ5キロ以上の増毛山道全体の

航空写真や活動の様子のパネルを持ち込み、山道を切り開いた伊達林右衛門の直系の子孫である増毛山道の会の伊達東会長と共に講演した。

増毛山道についてプロシエクターで示しながら、



ら、復元の経緯や作業で

のこぼれ話を交え、約1時間熱弁を振るった。講演後の質疑で「なぜ、私費を投じてまで力を注ぐのか」との問いに「それはロマンです」と一言で答

えて喝采を浴びた後、「地域の宝として後世に伝えたいという思いにはかならない」と強く語った。

研修は、振興局職員を対象に、地域のために何ができるかを問い直し、職員が地域の中に入ってより身近な振興局を目指す目的で行われた。小杉氏のほか、遠別農業高校教育振興会長の南山仁嗣氏、天売島在住の自然写真家寺沢孝毅氏も講演した。

小杉氏らが語る地域の魅力と可能性にける思いに、竹谷千里振興局長をはじめ職員たちは熱心に聞き入っていた。

(留萌)